平成25年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月26日

上場会社名　ダイドードリンコ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2590　URL　http://www.dydo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高松　富博
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画本部長　(氏名) 八尾　雅幸　TEL 06-6222-2621

四半期報告書提出予定日　平成24年12月3日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第3四半期の連結業績(平成24年1月21日～平成24年10月20日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第3四半期	113,428	0.5	6,918	6.0	6,813	18.0	3,898	95.2
24年1月期第3四半期	112,907	△2.6	6,528	10.2	5,772	7.2	1,997	△19.5

(注)包括利益　25年1月期第3四半期　4,076百万円　(85.8%)　24年1月期第3四半期　2,194百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第3四半期	235.32	―
24年1月期第3四半期	120.58	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年1月期第3四半期	144,044	77,955	53.0
24年1月期	128,550	74,788	56.9

(参考) 自己資本　25年1月期第3四半期　76,281百万円　24年1月期　73,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	―	20.00	―	30.00	50.00
25年1月期	―	20.00	―		
25年1月期(予想)				30.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 1月期の連結業績予想(平成24年 1月 21日～平成25年 1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	151,200	2.6	7,600	4.2	7,200	7.7	3,400	44.6	205.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社たらみ 、 除外 ―社 (社名)
(注)詳細は、【添付資料】3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、【添付資料】3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年1月期3Q	16,568,500 株	24年1月期	16,568,500 株
② 期末自己株式数	25年1月期3Q	1,553 株	24年1月期	1,553 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年1月期3Q	16,566,947 株	24年1月期3Q	16,566,947 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から一部で持ち直しの動きが見られたものの、電力供給問題や円高の長期化、海外経済の先行きへの懸念など依然として厳しい状況で推移いたしました。

飲料業界におきましても、消費者の節約志向は依然継続しており、さらに低価格化が進行するなど販売競争が益々激化する厳しい状況が続いております。

こうした中、当社グループは自販機事業の維持・拡大並びに流通事業の強化・拡充を図りつつ、コーヒー飲料を主軸として各チャネルに即したマーケティング戦略を展開し、ブランドを一層強化させることで、更なる収益力強化に注力してまいりました。

また、営業効率の改善に向けあらゆる業務の見直しを実施するなど、引き続き徹底したコストコントロールを行い、利益確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、113,428百万円（前年同期比0.5％増）、営業利益6,918百万円（前年同期比6.0％増）、経常利益6,813百万円（前年同期比18.0％増）、四半期純利益3,898百万円（前年同期比95.2％増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①飲料販売部門

商品面では、厳選したコーヒー豆とこだわり続けてきたブレンド技術を駆使して開発した、新生「ダイドーブレンド」を発売いたしました。ユーザーの求める豊かで複雑な味わい深さを実現したこのブランドのコンセプトを「Blend is Beautiful.」とし、「ブレンド」の素晴らしさを広く訴求していき、幅広いユーザーの囲い込みとシェアの維持拡大に注力いたしました。

自販機の導入につきましては、消費者に支持される注目度の高い新しい自販機の積極投入と、不採算先自販機の撤去やスクラップ＆ビルドという投資効果に主眼を置いた設置ロケーションの選定を行い、採算性を一層重視した強固な全自販機の見直しに注力しました。

また、導入する自販機につきましては、「ヒートポンプ自販機」、「ＬＥＤ照明自販機」など地球環境に優しい節電効果の高い「エコ自販機」の徹底した開発・採択に努めました。また災害時における迅速で有効な支援ツールとなる「災害救援自販機」や、収益金の一部を募金として寄付する「緑の募金自販機」、「盲導犬育成募金自販機」、「ギャラクシー募金自販機」等の「社会貢献型自販機」を投入するなど、地域社会や消費者に支持される新しい自販機の積極投入を行いました。

以上の結果、飲料販売部門の売上高は100,814百万円（前年同期比4.6％減）となりました。

②飲料受託製造部門

近年、消費者ニーズはドリンク剤から健康食品やサプリメント（健康補助食品）への流れに変わり、ドリンク剤と競合する商品が数多く発売されるようになりました。そうしたニーズをいち早く掴み、従来のドリンク剤のノウハウを礎として、「美容と健康」を謳った女性向け商品を開発する体制をつくり上げたことから、多方面にわたり受注を獲得することができるようになりました。さらに営業開発体制の強化並びに生産体制の整備が年々拡充したことに加え、昨今の厳しい経済環境の変化から大手医薬品等有力メーカーの生産スタイルが、「自社生産」から「ＯＥＭ生産」にウエイトシフトしたことなどにより、傾向的には安定した受注を確保できるようになりました。

以上の結果、飲料受託製造部門の売上高は8,262百万円（前年同期比14.9％増）となりました。

③食品製造販売部門

ドライフルーツゼリー市場においてトップシェアを有する株式会社たらみの発行する全ての株式を取得し、連結子会社としたことに伴い、新たなセグメントといたしました。第３の柱となる新分野の事業を獲得したことで、将来の持続的成長を実現できる新たなビジネスチャンスの創出を図り、当社グループの更なる企業価値向上に注力いたしました。

以上の結果、食品製造販売部門の売上高は4,352百万円となりました。

なお、同社の株式取得による子会社化は、みなし取得日を平成24年７月20日としており、当第３四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、無形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末と比較して15,494百万円増加し、144,044百万円となりました。

負債は、仕入債務の増加などにより、前連結会計年度末と比較して12,326百万円増加し、66,089百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末と比較して3,167百万円増加し、77,955百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、消費者の節約志向の継続など引き続き事業環境は厳しい状況が続くものと想定されますが、新生「ダイドーブレンド」の発売などコーヒーの販売強化を図るなど、利益拡大に向けた販売活動に注力して参ります。

平成25年1月期の通期の業績予想につきましては、平成24年８月24日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第３四半期連結累計期間において、株式会社たらみの発行済株式の全てを取得したことに伴い子会社となったため、連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年１月20日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年10月20日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,511	34,345
受取手形及び売掛金	12,702	18,338
有価証券	31,435	10,575
商品及び製品	5,502	6,323
仕掛品	14	6
原材料及び貯蔵品	250	1,431
その他	2,824	3,160
貸倒引当金	△21	△14
流動資産合計	74,221	74,167
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	15,162	11,787
その他（純額）	12,746	20,541
有形固定資産合計	27,909	32,329
無形固定資産		
のれん	－	6,058
その他	2,319	6,522
無形固定資産合計	2,319	12,580
投資その他の資産		
投資有価証券	19,474	18,988
その他	4,646	6,034
貸倒引当金	△20	△55
投資その他の資産合計	24,100	24,967
固定資産合計	54,328	69,877
資産合計	128,550	144,044

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年１月20日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年10月20日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,901	20,410
短期借入金	502	1,902
リース債務	6,813	5,867
未払法人税等	2,532	1,777
賞与引当金	1,177	2,003
役員賞与引当金	－	29
その他	13,346	16,851
流動負債合計	40,272	48,841
固定負債		
長期借入金	2,257	6,419
リース債務	8,065	5,651
退職給付引当金	－	131
役員退職慰労引当金	656	664
その他	2,510	4,380
固定負債合計	13,489	17,247
負債合計	53,762	66,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,924	1,924
資本剰余金	1,464	1,464
利益剰余金	70,337	73,407
自己株式	△3	△3
株主資本合計	73,722	76,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△442	△394
繰延ヘッジ損益	－	0
為替換算調整勘定	△108	△115
その他の包括利益累計額合計	△551	△510
少数株主持分	1,617	1,673
純資産合計	74,788	77,955
負債純資産合計	128,550	144,044

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月21日 至　平成23年10月20日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月21日 至　平成24年10月20日）
売上高	112,907	113,428
売上原価	51,797	51,777
売上総利益	61,110	61,651
販売費及び一般管理費	54,581	54,732
営業利益	6,528	6,918
営業外収益		
受取利息	130	136
受取賃貸料	－	85
持分法による投資利益	30	25
その他	394	524
営業外収益合計	555	772
営業外費用		
支払利息	888	658
有価証券売却損	308	52
その他	113	166
営業外費用合計	1,310	877
経常利益	5,772	6,813
特別利益		
関係会社出資金売却益	－	241
特別利益合計	－	241
特別損失		
投資有価証券評価損	330	179
災害による損失	927	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	55	－
特別損失合計	1,314	179
税金等調整前四半期純利益	4,458	6,875
法人税等	2,302	2,839
少数株主損益調整前四半期純利益	2,156	4,035
少数株主利益	159	136
四半期純利益	1,997	3,898

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月21日 至　平成23年10月20日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月21日 至　平成24年10月20日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,156	4,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	48
繰延ヘッジ損益	－	0
為替換算調整勘定	△8	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	37	41
四半期包括利益	2,194	4,076
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,037	3,939
少数株主に係る四半期包括利益	157	137

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成23年１月21日 至平成23年10月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額（百万円）（注）１	四半期連結損益計算書計上額（百万円）（注）２
	飲料販売部門（百万円）	飲料受託製造部門（百万円）	食品製造販売部門（百万円）	計（百万円）		
売上高						
外部顧客への売上高	105,716	7,190	－	112,907	－	112,907
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	1,178	－	1,178	△1,178	－
計	105,716	8,369	－	114,085	△1,178	112,907
セグメント利益	5,432	1,091	－	6,524	3	6,528

（注）１．セグメント利益の調整額3百万円には、セグメント間取引消去0百万円、棚卸資産の調整額3百万円が含まれております。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成24年１月21日 至平成24年10月20日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額（百万円）（注）１	四半期連結損益計算書計上額（百万円）（注）２
	飲料販売部門（百万円）	飲料受託製造部門（百万円）	食品製造販売部門（百万円）	計（百万円）		
売上高						
外部顧客への売上高	100,814	8,262	4,352	113,428	－	113,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	668	30	699	△699	－
計	100,814	8,930	4,383	114,128	△699	113,428
セグメント利益	5,351	1,328	233	6,913	5	6,918

（注）１．セグメント利益の調整額5百万円には、セグメント間取引消去0百万円、棚卸資産の調整額5百万円が含まれております。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、従来、「飲料販売部門」、「飲料受託製造部門」の２つの報告セグメントとしておりましたが今後の事業領域の拡大と将来の更なる企業価値向上のため、平成24年６月18日に株式会社たらみを完全子会社化いたしました。これに伴いセグメントの見直しを行い、第２四半期連結会計期間より「飲料販売部門」、「飲料受託製造部門」、「食品製造販売部門」の３区分に変更いたしました。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、セグメント見直し後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示いたしております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変更）

「食品製造販売部門」において、株式会社たらみの全株式を取得したことにより、新たに連結の範囲に含めております。これによりのれんが6,058百万円増加しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。